

施政方針と予算

令和8年第1回市議会定例会の初日（2月20日）、櫻田市長は施政方針演説を行い、新たな年度に向けた決意とともに、市が今後1年間目指していく方向を示しました。

今号では、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業などを紹介します。

令和8年度 施政方針

※「令和8年度施政方針」を要約・抜粋しました。

弘前。この街には、深遠なる歴史とそれに培われた市民一人ひとりの人生が確かに息づいております。四季折々に表情を変える弘前の美しさは、津軽の人々の心の綾そのもの。風雪に鍛えられながらも、決して折れることのないその矜持（きんじ）こそが、この城下町を四百年もの間、輝かせ続けてきた原動力であります。

多くの先人たちが、たゆまぬ努力と知恵を注ぎ、私たちに現在の豊かなこの弘前を残してくれました。私もまた、長い歴史に裏打ちされた文化、そして市民の暮らしを未来へとつなぐため、これまで全力を傾けてまいりました。

市長に就任してから今日までの間にあっても、私たちを取り巻く社会は、想像をはるかに超える速さで変貌を遂げてきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の経験は私たちの生活様式、経済活動、そして、人とのつながりのあり方にまで大きな影を落としました。同時に、AIをはじめとするデジタル技術の爆発的な進化は、社会のあらゆる側面に変化をもたらし、情報化の波は日々高まっております。

不安定な国際情勢、深刻化する地球環境問題についても、私たちの日常に、物価高騰や自然災害の激甚化・頻発化など、具体的な影響を与えています。そして、何よりも、人口減少と少子高齢化はかつてないスピードで進行し、地域社会のあり方を根底から問い直す大きな課題として、常に私たちの前に立ちはだかっています。

しかしながら、この激動の時代においても、私たちは、決して立ち止まることなく、一步一步、

確実に歩みを進めてまいりました。時には困難に直面し、思うように物事が進まないこともありましたが、しかし、その都度、市民の皆様の声に耳を傾け、地域の力を結集することで、これまで乗り越えてきた数々の実績が、今の弘前市を支えております。

この歩みは、まさしく市民の皆様との「協働」の証であり、私自身が大切にしてきた「市民目線」での市政運営の軌跡であります。

令和8年度が計画期間の最終年度である弘前市総合計画においては、「市民の『いのち』を大切に、市民の『くらし』を支える、次の時代を託す『ひと』を育てる」という3つの柱を掲げ、この基本方針に基づき、子育て、健康・医療、農林業、観光など、16の分野にわたり多様な施策を着実に展開してまいりました。

「健康都市弘前」、将来都市像「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」の実現に向けて、引き続き分野横断で果敢に挑み、市民との協働、そして国や県、周辺市町村との連携を強化しながら、総力を挙げて、市民の皆様が「将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくり」を進めてまいります。

20年後、30年後、私たちが愛するこの弘前が、子どもたちや孫たちの世代に、さらに輝かしい姿で引き継がれるよう、皆様と共に知恵を出し合い、力を合わせ、新しい弘前の歴史を刻むため、市政運営に全力を尽くす所存であります。市民の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（◆）矜持…誇り、プライドのこと。

主な事業を紹介

1 まちの健康

快適なくらしを送れるまちづくり

快適で豊かな住みよい生活環境が整い、地域経済が活気に溢れる、まちも自然も産業も全てのものが元気で健康な「まちの健康」の実現を目指します。

新規 中心市街地新規出店 支援事業

予算額 4,570万円

中心市街地の商業環境の充実と賑わい創出を図るため、空き店舗や商業施設内に新規出店する際の費用を支援します。

新規 まちなか情報センター リニューアル事業

予算額 85万円

市民ニーズ等を踏まえ、中心市街地の情報発信・交流施設としてのあり方と機能を再構築するための調査事業を実施します。

拡充 ゼロカーボンシティ 推進事業

予算額 2,780万5,000円

2050年までにカーボンニュートラルを達成するために、市民や事業者と連携しさまざまな脱炭素施策を推進します。

拡充内容 市民が太陽光発電設備および蓄電池を導入する際に費用の一部を補助

拡充 弘前城本丸石垣 整備事業

予算額 2,507万円

約100年ぶりの石垣解体修理を終え、11年ぶりに天守が元の位置に戻る曳戻し工事を公開するなど、この貴重な機会を国内外に情報発信するとともに、各種関連イベント等を開催します。



新規 産業団地 整備事業

予算額 3,060万円

地元企業の新增設や移設、県外企業の地方進出による企業立地に対応するため、産業団地の整備を進めていきます。



拡充 除排雪 事業

予算額 15億円

冬期間の円滑な道路交通を確保し、良好な市民生活および経済活動の基盤を維持するため除排雪体制を強化します。

拡充内容 大雪などへの早期対応による円滑な道路交通や良好な市民生活の確保のため、除排雪等業務委託料を増額



宿泊税 活用事業

※令和8年度宿泊税収入見込額…1億2,000万円 宿泊税対象経費…1億2,000万円 そのほかの宿泊税活用事業は市ホームページで確認できます。



新規 宿泊施設等利活用 促進事業

予算額 2,000万円

宿泊施設の利便性向上や業務効率化・省力化を図る取り組みを促進し、宿泊者数の増加および満足度の向上を目的として、市内宿泊施設が実施する施設改修や機能向上等に係る整備費用の一部を補助します。

新規 弘前観光DX 推進事業

予算額 1,700万円

当市の観光情勢にマッチしたデジタル技術の活用などにより、域内の観光DXの推進や旅行者の満足度向上を図るため、観光DXセミナーの開催や弘前版観光DXアクションプランの作成、デジタルアンケートの実施や観光情報ホームページのリニューアル等を実施します。